

吹田民主商工会 いんぷお めくしよん

吹田市川園町20-1
TEL (06) 63883-2211
FAX (06) 63882-8160
<http://www.suita-minsyou.com>
suita-ms@jasmine.ocn.ne.jp

毎週木曜日の
昼2時・夜7時
なんでも相談会

地域に愛されて29年、行動する喫茶店主

喫茶 サンデーマグ 佐登 美和さん

山田西2-1-17 (山田下交差点からNTより)

2月17日火曜日に第17回「経営交流会・お店訪問」が佐登さん(屋号サンデーマグ)のお店で開催され、14名の方が参加しました。開会あいさつを後藤さんが行い、続いて参加者の皆さんの近況報告を行いました。

続いて佐登さんの報告が行われました。23歳からお店を始めて今年で29年目になること。景気が悪くなるなかで、打開するためライブを開催してPRしていること。定休日以外、お客さんのことを思い休まないようにしていること。自分自身飲食業に向いていると思いい、お店を始める決意をしたことが話されました。最初は喫茶のみでしたが、15年たつてからアルコールを置きだしたこと。資金は国民金融公庫と親からの借入れでした。マスターが音楽をやっているのでも店でライブを行っていること。八百屋さんとかラボして野菜を置いていることが話されました。

今後工夫したいことは4月1日より新しいメニューを考えていることです。メディアでは、関西テレビに取り上げられ人気を博したそうです。民商は15年前に入会しました。民商の方がよく来てくれ入会をすすめたそうです。いまでもがんばって商売を続けてこられたのはこじんまりだがまとまっていること、お客さんと仲良くできて、お客さんが喜んでもらえることが励みになっているようです。

おじいちゃん、おばあちゃんに来てくれたら安心だし、来ないときは心配になります。年配者の方もかなり来店してくれています。地域に溶け込んでいるお店をこころがけています。音楽が好きなのも来ていますので、ライブも多くなってお客さんを増やしたいとの展望も持っています。

参加者からは、ホームページがあれば遠いところからも来ますよとの助言もいただきました。店の名前の意味についての質問には、日曜日に大きなマグカップでほんわかとした気分でコー



ヒーを飲んでほしいとの気持ちから決めたそうです。佐登さんはまとめのなかで「みなさんありがとうございます。みなさんの意見を参考にしてみたいと思います。次のステップにつなげたいと思います。」と話されました。

全員でそれぞれ感想や決意を出し合いました。3月開催予定の下井戸さんからは「仕事には覚悟と責任がいります。お客さんから鍵を預かるような関係で仕事をしています。口コミで仕事が増えています。」

閉会あいさつで後藤さんは、経営は自分を見つめなおす作業だと思えます。実行することで目標に向かってすすんでいくことが重要ではないでしょうか、と結ばれました。

清潔 公正な吹田市政を!!!

2月4日に明るい革新吹田市政をすすめる会・革新府市政をすすめる吹田連絡会主催の「清潔・公正な市政を求める維新市政を検証するシンポジウム」が開催されました。

最初にフリージャーナリストの西谷さんから井上市長の太陽光パネル疑惑に関わる裁判で勝算があるとの報告がありました。

次に日本共産党大阪府議会議員の曾呂利さんから泉北高速鉄道を外国資本に売却する府議会決議で維新の会から4名の造反者が出た事、住民の民意が議会を動かした事の報告がありました。

日本共産党吹田市議会議員の柿原議員からは井上市政はごみ焼却炉に関して大手の民間業者に委託しようとしている事、この提案に対して吹田市議会が否決した事、井上市政に対する反感があるとの報告がありました。

シンポジウム参加者からのフロア発言で、市職員労働組合の方からは非正規労働者が増えてきている中でも、市民サービスを守るために頑張っている報告がありました。教職員OBからは政策に「教育」を入れて欲しいと要望がありました。

井上市長に対する不信感が高まる中、吹田民商の布施事務局員からは2月1日に行われたシール投票の報告と市長への賛否を問う市民の反応を詳しく報告しました。



お買い物は地元市場商店街で・商工業者の繁栄は市民と共におい!